

## 福井大学に超小型人工衛星関連の研究者が着任

福井県では、県内における宇宙産業創出を目指し、今年打ち上げられる県民衛星「すいせん」の製造や衛星データ利活用のプロジェクトをはじめ、県外大学との共同研究、宇宙関連試験設備の整備などにより県内企業の宇宙ビジネスへの参入を推進しています。

昨年12月には福井大学に超小型人工衛星の開発・運用で実績のある研究者が着任し、4月から7月にかけて人工衛星設計の基礎知識の習得を目指す研修を行いましたので、その取組みについてご紹介します。

### ●研究者情報

青柳 賢英（あおやなぎ よしひで）氏  
福井大学 産学官連携本部 特命准教授

<略歴>

2012年

北海道工業大学大学院 応用電子工学専攻 博士号（工学）取得  
（ハイパースペクトルセンサーに関する研究）

2012年 - 2019年

東京大学 特任研究員

超小型衛星 ほどよし3、4号に関わる研究開発(搭載地球観測カメラ、運用管制、ロケットI/F等)  
その他多数の超小型衛星の研究開発に従事 (TRICOM-1、1R、MicroDragon 等)

(2018年 - 2019年)

福井県内企業と超小型人工衛星を共同開発 (RWASAT-1、AQT-D、G-SATELLITE)

2019年12月

福井大学 産学官連携本部 特命准教授

### ●人工衛星設計基礎論 2020

令和2年4月23日の第1回講義には、県内企業等から約40名が参加し、青柳特命准教授の講義を受けました。青柳特命准教授からは超小型人工衛星の開発・利用の動向について、約2時間説明をいただきました。講義はコロナウイルス感染拡大の影響から、テレビ会議システムを活用したオンラインの形式で行われ、7月まで全10回で開催されました。

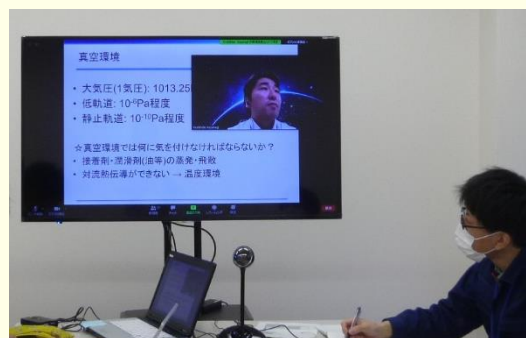
オンラインという慣れない形式で実施されたことから、初回は戸惑っている参加者も見受けられましたが、回数が進むにつれ、青柳准教授への質問、参加者同士の意見交換など活発な議論が行われました。

### ◆講義スケジュール（令和2年4月~7月）

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| 第1回: 人工衛星設計の導入          | 第6回: 姿勢制御、軌道論          |
| 第2回: 衛星ミッションの概念設計       | 第7回: 衛星の光学設計とリモートセンシング |
| 第3回: 宇宙環境、衛星の電源系と通信系の設計 | 第8回: 人工衛星の運用と地上管制局     |
| 第4回: データ処理系とソフトウェアの設計   | 第9回: 実習                |
| 第5回: 熱設計                | 第10回: 実習               |



県と福井大学が超小型人工衛星の研究等に関する覚書締結（右端が青柳特命准教授）



青柳特命准教授によるオンライン講義

お問い合わせ先：福井県産業労働部産業技術課 堤、牧野